

ミズベリング勉強会(7) 防災に強いまちづくりが水辺で稼ぐ

日時:平成31年3月13日(水)13:15~17:15
 場所:さいたま市さいたま新都心合同庁舎2号館中研修室5B
 参加者:15団体20人(民間7、自治体3、国等5)

1. 関東ミズベリング勉強会(1)~(7)の総括
 ミズベリング、かわまちづくり、河川空間活用イノベーションの関係
 【関東地方整備局河川環境課 課長補佐 黒沼尚史】
2. “使われる”水辺空間をデザインするには？
 利活用のポテンシャルが高い水辺拠点の評価指標(案)
 【土木研究所河川生態チーム主任研究員 鶴田 舞】
3. 高規格堤防整備における推進策等の調査研究
 全国の川裏法面敷地利用の事例紹介
 【リバーフロント研究所まちづくり・防災グループ技術参与 土屋 信行】
4. 高規格堤防の効率的な整備に向けた検討会 提言
 ~積極的な情報発信や地方公共団体・民間事業者等との連携を進めます~
 【関東地方整備局河川計画課 課長 池田大介】
5. かわまちづくり支援制度で防災に強いまちづくり
 高規格堤防区域外でも民間主導で同様な開発を実現するには？
 【関東地方整備局河川環境課 課長補佐 黒沼尚史】
6. 意見交換会
 【株式会社ダブリューズカンパニー執行役員/事業プロデューサー坂口 弥寿久】
 高規格堤防周辺活用事例紹介: SUP the River Tamagawa 2018
 主催: SUP the River 実行委員会(運営主体:ダブリューズカンパニー)
 多摩川河川敷清掃、田中律子のガーデンヨガ、SUPレース・SUP体験・表彰式



○河川に隣接した土地で事業を考えた時点で相談頂くと可能性が広がる。
 ○高規格堤防事業に限らずミズベリングでもうまく動いている現場には、関係者を繋ぐ中心的人物がどこかにいる。その人物を探すことがポイント
 →多摩川河口の高規格堤防のキングスカイフロントで民間事業者と河川管理者の調整役になった川崎市の担当者の存在は大きかった。
 ○川のポテンシャルはなくても、自ら工夫して誘導すれば人を呼び込める。ロスのサイクリングカフェでは行きづらい場所でもサイン表示などの工夫で盛況であった。
 ○川は都市の良い意味での逃げ場所として重要な役割を持っているのではないかと。金八先生では、河川敷が場面で良く出てくる。
 ○橋のたもとは、水辺利用としてのポテンシャルが高いのでは。橋から川の状況が分かるし、交通の結節点なので、自然と人が集まる。

